



スマイシアHD株式会社 代表取締役会長
アサヒグローバルホーム(株) 取締役会長
ゴールドトラスト株式会社 取締役会長
ゴールドエイジ株式会社 取締役会長
文/久保川 議道
text:Yoshimichi Kubokawa

『寄り添い最高の暮らしを』

全ての「会長のひとりごと」がWEBで読める!
『くぼかわよしみち.com』

くぼかわよしみち.com

検索



毎月
20日
更新!!

『使命』です。そしてミッション経営とは全社員がこの同じ思いを持つてミッションを実現させていくこと。簡単なことではありませんが、やりがいのある素晴らしい活動だと思います。介護・看護の社員さんは優しい人が多いですし、人の役に立ちたいと考えて介護や医療の仕事を選んだ人達ですから、このミッションは必ず達成されるのではないのでしょうか。私はそう思います。

この頃私がびつくりするのは介護の現場がどんどん自主的に改善されている事です。①各館の館長さんはそれぞれの館を見違える程に良くしてくれています。入居率やシフトや社員募集などの改善や、館長のところを書いて自分の思いをスタッフに伝えていきます。毎日毎日仕事で時間に追われながらも努力を続けてくれています。

②社員研修制度の『スマイシアアカデミー』にもたくさん社員さんが参加してくれています。介護系の社員さんは元々が有資格者ですから勉強熱心です。そして知識がないと高齢者の正しい介護ができませんから、知りた

い覚えたいという意識が高いのです。経営者側も教育、研修などの良い職場環境を整えることによって社員さんの能力向上に努めたいと思います。

③そして社員さんからの希望で、自分の親をゴールドエイジに入れたいんですが、割引制度を作ってほしいと意見が出ていました。ですから今回費用を1/2にする制度を決定しました。通常なにもかも食事なども含めて月間16万円程ですが、それを半値の8万円にしました。パートさんは月収の1/2までを上限とした割引にしました。親を入居させたいと言うのですから、それは嬉しいことなので実施しています。

④これは私の希望なのですが、母子家庭のお母さんを採用して正社員として働いてもらいたい。そして子供さんをゴールドエイジでお預かりして、広いリビングや食堂でテレビゲームをしたりおやつを食べたり。5時から公文算数教室や英語教室を開いて1・2時間勉強してもらいたいと計画しています。そしてお母さんが退社する7時頃に一緒に家に帰れると安心です。やりたいと思います。子供さんが高齢者住宅にいとそれだけで活気があつて楽しいものです。

⑤『寄り添う』ということとは、その人の人生を知ることでしょう。お一人お一人が育った環境やどんなお

仕事をされていたかを知ることです。そのためには声をかけることと話すことです。忙しくて面倒で時間がなくてもまずは心を向けること。次に時間を作る。そうするためには仕事を今までより効率よく済ませなければなりません。自分の能力を上げないと人に寄り添う行動はできません。努力願います。

⑥『最高の暮らし』は人それぞれで二人違うものであつて、これですと決めつけることは間違いです。しかし一言で言つて最高の暮らしの定義は今まで生きてきて『今が一番幸せ』と思えることでしょう。私自身、苦しいことは相変わらずありますが、本心で今が一番幸せだと感じています。入居者様二人の今が一番幸せを実現しましょう。

⑦スマイシアグループの『10%ルール』はご存知でしょうか。それは全労働時間の10%を自分のやりたいことに使うことです。8時間労働であれば0.8時間・48分(60分×0.8)です。約50分を自由に使うことです。そのためには1日50分早く今日の仕事を終わらせる必要があります。努力して余った時間を『よきこと』に使ってください。これは私からの厳しい要求です。お願いいたします。

わくわく 夢 ニュース【高齢者住宅】

ゴールドライフ高茶屋 
こだわりを持った自分らしい暮らし
早めの住み替えで安心の悠々自適生活 

2025
5月
No.220



ゴールドライフ高茶屋・ゴールドエイジ高茶屋
ナビ住所：三重県津市高茶屋一丁目23番3号